

## 後見 / 親族会

発行年	1910
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/429">http://hdl.handle.net/10114/429</a>

昭和三年月十香

後見

親族會

下六六六

本館





此書外書のノミを著者  
前記の如くは使はし得ぬ  
手ノ本等ノ本等  
外記の如くは使はし得ぬ  
手ノ本等ノ本等

外記の如くは使はし得ぬ  
手ノ本等ノ本等  
外記の如くは使はし得ぬ  
手ノ本等ノ本等

外記の如くは使はし得ぬ  
手ノ本等ノ本等  
外記の如くは使はし得ぬ  
手ノ本等ノ本等

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶

或る者利し住し  
平より定より  
知事佐と敷成  
以下より猶  
以下より猶





あつたはたきより

此乃李 爲 著 經 治 之 書 若 經 色 上 下 氣 和 行 之 夫 四 豆 得 見 小 人

[illegible]

夫々各處に當りては、石が、たゞの石、人、うゝ、トキ、重、重、ト、ト、ト、

[illegible][illegible]

卷之五

卷之四

五  
六  
七  
八  
九  
十

—

以行入下

今抄入

Downloaded from <http://ajphaphapublications.sagepub.com/> at National Archive Publishing Co on June 11, 2015

唐三才圖會卷之六

うきとて六且苦の處や夫うはく徳と人々をいふ又示大喉点ニ独座の三見多二下

為生致位，多蒙德祐，因人長藉，了竟上六，三坐致移，小人卜居。

[illegible][illegible][illegible]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

100

...

三六二  
字

卷之八

五、（一） 子孫方之

[illegible]









一ノミズクニ  
一家三好人とわたりて下り  
へいなるをせう

成九乃主孝移人下之

[illegible]

伊能忠實

此書の事ハ唐土より既に傳來スル所也今事考方々

知多徳之即了才學上同一全善之也  
作才或年或時人三三後以人下之也

於て人ノ社ヲ以テ  
 己ノ爲メニ之ヲ  
 汚サハ主君  
 上ノ所ニテ  
 不

言ノ辭ヲシテハカキモ知ル人ノ多クモ少クモナリ初メハ一人ニシテ

式者主事修人賜す外左帝由ニ非サハ且仕第ヲ新ニトテ掃又

一軍又帝后より現役ニ服ス

二郡縣分位所又二郡縣分位所

四、對海軍者、向來、軍事上之地位、名之曰、海軍、但能從古、海軍、戰役、及、艦、船、之、限、在、之、人、

土城邊房  
於少正  
上  
酒  
是  
市  
田























[illegible]

佛之門に於て家に入らば親族を  
うやむやとせむ人々ありて是の  
門に於ては人々をうやむやとせむ  
人々ありて是の門に於ては人々を  
うやむやとせむ人々ありて是の

[illegible][illegible][illegible]

侯白字叔元

[illegible]



伊、李、李、李、

増佳シ極ニシテトヤ

持厚マツリツナウ

沈氏子四子

仙史日錄

五回

有公堂也

卷之五

蘇子瞻

下

御用事 陸奥使臣 今 奉 詔 出 遣 十 九 日 見 寄 同 日 三 日 他 事 加 八 日 止 又 一 日 止  
 一 日 止 陸 奥 使 臣 今 奉 詔 出 遣 十 九 日 見 寄 同 日 三 日 他 事 加 八 日 止 又 一 日 止


アノ佐ウニカケルカニシテ後ニリ巨ハノ前ハナリ目録ノ調製ナリトシテニラズ

明神宗 子 朱由校 即位 年 十六 歲 在 位 十 年 崩 葬 於 定 陵  
 九 子 朱 由 校 子 朱 由 校 子 朱 由 校 子 朱 由 校 子 朱 由 校  
 九 子 朱 由 校 子 朱 由 校 子 朱 由 校 子 朱 由 校 子 朱 由 校

松本社位人新に優おふとてわうてに申出せしやい見度おのり

後人々は其の初に陸軍ヲ下ニテ知リシ中出テ又主に現狀當位位人々之變遷を以テ得

[illegible]

一、此主喜之明書予之文仁生之族六甲出之族人者少心謹人又親族有之之少

仁見無窮人トシテ 惟テ所成古曲新ミテ歌身ヨリ得ル事ヲ得テ人ノ歌

此本極公證ノ同共ニ勸ガリテ執務所ヨリ一連立成ニテ俵ね僅素ノ申出

此方乃一六二五年六月服者。細考之。遲滯生。却。不。得。修。方。不。到。卷。上。為。







年考主成少後人主少少わ有弟誠つたに少高くと、  
 全世但忠リ御座るといふ事等在事主と云ふり  
 四時之便き

九十九年後其初得是之政也。又其或也。皇之法律行而之。初得是之代也。

延寶四年、中、旗本爲二卷二  
尺、四三、取方、尺、從、二、方、

我未嘗言後見人賦意屬此律行爲之所未及第者后意之亦以之授

理學本義卷之四

高主事三子之整治者之  
後之之廣同之之之之  
今西人於此之在學士見現之氣國之

右の二條は、乃ち之を以て、  
管仲ノ失智又ハ過大ニ生  
スル智ヲ歸せ、或ハ之ト云フ

之在雪三十八日ニテ而四十一日ニテ之雪全ク融けヨリ多雪然ルモ其雪ニミテハ

平ヲ生スツ  
此ノテ  
癸亥ニ  
明カキリナリ

才華沈沈、臥成松室、主客之、カハカハ生、新、親お行、者、子、臥老、同、之、此、行、何、方、而、

子同多よと名上國ノ主き尊キニクかゝるノ臣等ハ同キナリト云ヒテ衆意ニ

同書に云ふに、猶トシハ、海類ハ、類三枚、後トシテ、類三枚、其間、御方、雲ニハ、所ニ、云フ、

...

九面三條是。在東神祠。於教道常。記年。得見。唐初。為之。應奉。嘉祥。及。

信託を以て爲す事なきを執り附せしむるを信託左衛門尉と稱す

四才女家から伝ふ坂本武十郎の事

我姓云、何屋、よ、め、ま、な、り、う、り、ゆ、り、と、く、本、家、や、九、百、三、十、七、文、也、如、此、多、

[illegible]

卷之二十一

[illegible][illegible]

政院者、張清炯之臣也。清炯定策、以九龍之語、而周之、以二出之、清炯之妻、仁

[illegible][illegible]

---



[illegible][illegible]

但書ハ右ノ報知ヲ受ケテ其ノ旨ニ  
依リテ之ヲ宣明スルモノナリ

[illegible]

此の二三年秋播種は谷々大秋穡ノ如ク多ク佳クハ秋作も大豊成ノ可程ノ  
 好運ニ至リテ此ノ秋ノ大豊ノ如ク又

行はナザリナカニ思ふに金銭の難解者なり  
 此の如き人其法に於て思ふ所ニテ又

金我之常以之、所行ハ親族等、返降ヲ得ル後見入ニシテ送付

神々本體點々散在全身外而七事、相違ふ五條、然るに五事を此七事に附  
 け、五事、原、ことしより初メ全條、乃、歎、意、目、ニ、の、情、以、ふ、ことしより、甲、意、  
 毎、味、隨、ふ、味、の、趣、こゝろ、名、あり、一、二、三、等、に、活、神、に、於、て、三、事、定、ま、る、に、歎、意、等、  
 原、又、此、ことしより、五、事、二、何、種、之、意、こゝろ、以、ふ、に、歎、意、等、  
 而、こゝろ、こゝろ、活、神、に、一、條、を、の、め、り、

宣統元年  
宣統二年  
宣統三年  
宣統四年  
宣統五年  
宣統六年  
宣統七年  
宣統八年  
宣統九年  
宣統十年











いふと何てまをさう

たてをきり知れどもなまじりてはたしむるものなり他は皆を親類と爲すは后宮爲  
るに底地なり而も樂み多かる處なる親類者此等ノ偏より爲す

後には其政事も代りて親類の何れか者より主事を爲す事ある事あり又  
此也親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり

此等ノ親類人より主事を爲す事あり主事を爲す事ありは後にも前にも  
之れより上り下りには自づから此等ノ者より主事を爲す事あり







此書は、  
...

後之、  
...

...

本寺に於て、  
...

...

...

...

...

...

















和書之周子之正格、知字、更作

ノ新に牌をミストフ、今更に  
ノ手取斗石、費ミストフ、其

[illegible]

高子雲下人屋見小女在父母臥側爲弄索令飲之生乳之始

本人居る處に於ては、  
負はれざるを期す。

此を執ねて行くべきに親類等より  
 聞てそりす、大に知者として、  
 此を

[illegible]





